

平成19年度各会計歳入歳出決算額

会計等区分	歳入総額	歳出総額
一般会計	90億9,210万円	84億8,043万円
国民健康保険事業特別会計	35億8,187万円	34億7,229万円
財産区特別会計	10億8,141万円	2,687万円
老人保健医療事業特別会計※1	22億 842万円	22億2,614万円
下水道事業特別会計	10億1,191万円	10億1,067万円
介護保険事業特別会計	14億6,644万円	14億 351万円
水道事業会計	収益的収支(税込み)※2	6億 851万円
	資本的収支(税込み)※3	4,678万円
		5億3,736万円

※1 歳入歳出差引歳入不足額1,772万円は翌年度歳入繰上充用金より補てん

※2 収益的収支:経営活動(水道料金)の収益とこれに対する費用

※3 資本的収支:将来の経営の安定を図るための設備投資などの費用

どう使われた 私たちの税金!



▲力強い組体操(蓮池小学校)

平成19年度 決算178億円

平成19年度決算について、決算特別委員会を設置し、各会計の細部にわたって審査しました。質疑の一部を要約し、お伝えします。

Q 「国保収納率確保緊急プラン」の作成状況は

収納率の低い自治体は交付金をカットする「制裁措置」があるが、その「制裁措置」に対する収納確保対策は。

A 現在「国保収納率確保緊急プラン」の作成は行っていない。「制裁措置」の収納率アップに対して、納税相談、分納、又は差し押さえなどを行い収納に努めている。

Q 利益剰余金の積立の目的は

水道事業会計で利益剰余金の一部2億5千万円を積立てる目的は。水道料金の値上げには影響しないか。

A 給水施設耐震化のために積立てる。積立処分した残りの剰余金額は、繰越分として3億2千万円となる。燃料費など変動要因は考えられるが、平成27年度までは値上げをしないで済むだけの財政的な余力があると試算する。

Q 屋外広告物の規制は

公衆道路の迷惑広告物が、地域の環境や景観に影響を及ぼしているがその対策は。

A 屋外迷惑広告物の貼り紙・貼り札・立て看板の簡易除去は毎月実施。また、県と連携して年一回巡回している。

Q 職員の福利厚生への向上は

先進国の中で日本は年休取得数が最低で、一人年平均8日です。職員の年休取得数と療養休暇数は。また、余裕ある職員配置を。

A 職員の年休取得数は一人平均10日で、療養中は1名です。残業時間も部署により、差があります。法改正による新制度導入時は多忙となりますが、集中改革プランの実施のため、削減目標に向かって努力している。

Q 望海公園周辺の清掃は

公園内の清掃は、行き届いているが、海岸部には、多数のゴミがあふれている。対策は。

A 公園内については、町の管理で清掃を行っているが、海岸部は県の管理になっており、町では出来ない。再度、県に対して清掃を要望したい。

Q 国保料の引き下げを

国保滞納者は年収50万円から200万円までの低所得者が50%を占めている。療養費の不用額も多く、基金を取り崩し社会保障の立場から保険料の引き下げを。

A 滞納者の増加は、町税に対する増税感が大きくなった事が原因。支出に見合った保険料を納めてもらうことで、引き下げは考えていない。

Q 理美容サービスのPRを

訪問理美容サービスは、年々予算が縮小している。町広報以外にも、あらゆる機会に制度のお知らせをするべきでは。

A 家庭で介護されている方の利用制度について高齢者の皆さんが集まる場でお知らせしていきたい。

Q 温暖化防止の削減行動を

庁舎施設の電気使用量が前年比で約10%(約100万円)増加している。省エネ型器具への取替など、節電の努力が必要では。

A 極力、庁舎照明をこまめに消灯するなど節電に取り組んでいる。1階フロアの来庁エリアは省エネ型の照明器具を採用している。今後も節電に努力していきたい。

Q 町長交際費の改ざんは遺憾

町ホームページの町長交際費の出金履歴から、明石市長・県議員への当選祝い金各3万円が削除されているが。

A 当選祝い金は5年前なら問題にはならなかったが、他市の事例からして時代の変化から妥当性を欠くものとして、明石市長・県議員への各3万円は返金していただき、なかったものとして掲載は削除した。

Q 市街化区域変更(案)の面積は

播磨町には、市街化調整区域が84haあるが、県と協議している市街化区域に編入される予定の面積は。

A 県と協議している町の案では、市街化区域への編入は18haで、その地域は、野添北・大中東地区の一部です。